



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成28年(2016年)
10月5日
水曜日
第178号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

常設展示室OPEN
施設内に整備された3つの展示室では、約3万6千年前の旧石器時代から江戸時代までの遺跡から出土した石器や土器な

施設は、当時の校舎等を改修して活用し、新たに常設の展示室、体験学習室を設置しました。また、出土文化財の整理・修復室の他、県内各地で分散保管していた出土文化財を集約する収蔵庫も設置し、調査・資料の保管から学習までを一体とすることができました。



施設の全景

県埋蔵文化財センターは、10月1日に静岡市清水区蒲原の旧県立庵原高校跡地に移転しました。展示室などは10月11日(火)から一般公開します。(平日の午前9時30分から午後4時30分まで)

静岡県埋蔵文化財センターが 新しく生まれ変わりました!! 移転リニューアルオープンのお知らせ



火起こし体験

また、土器の接合修復、木製品の保存処理など、当センターが行っている作業をガラス越しに見学することが出来ます。

また、土器の接合修復、木製品の保存処理など、当センターが行っている作業をガラス越しに見学することが出来ます。



貴重な石器や土器が目の前に

見て・聞いて・触れて
見るだけでなくつまらない!そんな歴史好きのあなたのために、実物の土器などに触れ、じっくり観察することが出来る体験学習室を設置しました。

また、土器の接合修復、木製品の保存処理など、当センターが行っている作業をガラス越しに見学することが出来ます。

さらに、学校等の団体向けに、体験メニューも用意しています。土器分類、石器体験、火起こし、勾玉作り、織物体験などを通じて、当時の人々の暮らし方や歴史を、楽しみながら学ぶことができます。

オープン記念講演会
「古墳時代の駿河と伊豆」
■日時 10月16日(日) 午後1時30分から4時
■講師 滝沢 誠(筑波大学准教授)
■定員 100人(先着順)
申込方法など詳しくはホームページでご確認ください。

遠足や校外学習に
当センターの周辺には、江戸時代の旧東海道蒲原宿の街並みや富士川などたくさんある学習スポットがあり、センターを基点に一日校外学習ができます。多くの皆様のご来館、ご利用をお待ちしています。

た。ここでは古代のものの作りの技術を実感してください。
さらに、学校等の団体向けに、体験メニューも用意しています。土器分類、石器体験、火起こし、勾玉作り、織物体験などを通じて、当時の人々の暮らし方や歴史を、楽しみながら学ぶことができます。

自立と社会参加を目指して! 事業所等における職場実習の取り組み

高等部を置く県立特別支援学校は現在30校(高等部分校10校を含む)あり、約2,000人の生徒が学んでいます。卒業生の進路はさまざまです。高等部の3年間、生徒は将来の夢の実現に向けて学び、自立と社会参加を目指します。そのため、高等部では、卒業後の働く生活を実際の職場で体験しながら学ぶことを重視し、教育課程上に「職場実習(産業現場等における実習)」を位置づけて取り組んでいます。

職場実習、そして進路決定へ
職場実習先は、生徒や保護者の希望、学校側の意見等を考慮して決定します。実習期間中は、作業だけでなく、通勤、職場でのコミュニケーション、休憩時間の過ごし方など、職業人として必要なスキルやマナーも学びます。

また職場実習先には、生徒の取り組みを評価いただき、実習後、各学校は評価結果を授業に取り入れ、より効果的な指導を行います。特に3年生で行う職場実習は、1・2年時の学習の成果と課題を踏まえて、就職を前提に行われ、卒業後の進路の決定につなげます。

職場実習先の開拓
生徒の希望と適性に合った職場実習を実施し、就職先を決定するためには、職場開拓が重要です。

各校は、事業所等への電話による照会や直接訪問等で職場実習受け入れの理解と協力を求めます。また、ハローワークや就労支援機関等から雇用に関する情報を収集します。平成27年度は、県内1,067箇所の事業所等で職場実習を実施することができました。

そして、高等部卒業生613人のうち、231人(37.7%)が、製造、清掃、販売、物流、事務等、さまざまな職種に就職することができました。

職場実習受け入れのお願い
障害者雇用の一層の推進には、各事業所等のご理解が不可欠です。ご協力いただける事業所等がまだまだ必要です。

「働きたい」という生徒の願いの実現に共感いただける関係者の皆様は、お近くの特別支援学校または特別支援教育課までお気軽にお問い合わせください。

問 特別支援教育課
TEL054(221)2090
FAX054(221)3558



職場実習で清掃業務を行う生徒

モンゴル交流団とは
今回、この交流団に参加したのは、多数の応募が分かります。



らくだに乗る本県の高校生

「モンゴルの知識をたくさん得ることができたので、積極的に家族や友達に伝えていきたい。私はこの経験を踏まえ、将来は海外で働きたい」



【高校教育課】
サインジャンドの駅前で全員輪になってお別れの歌を合唱

モンゴルの大自然体験!
交流の大きな魅力は、力です。モンゴルの高校生は、日本に対して好印象を持っており、誠意をこめて私たちに招き入れてくれました。言葉はつたなくても、心は通い合います。サインジャンド駅でのドルノゴビ県の高校生との別れの場面では、お互いに号泣する感動のシーンが毎回見られます。最後に、交流団生の感想を紹介します。

「実際に異なる文化を持つ人と会わなければ感じられないことがある。それは、世界のどのような人も同じように笑ったり泣いたりしながら生きている人間だということだ」

「モンゴルの知識をたくさん得ることができたので、積極的に家族や友達に伝えていきたい。私はこの経験を踏まえ、将来は海外で働きたい」

来は海外で働きたい」
「劣っているも、恥ずかしくてもいい、自分勝手でもいいから、まずはその劣等感を背負ったまま、一歩先へ踏み出せる人になりたい。だから、ここで得た劣等感を無駄にせず、成長していきたい」

実践NOTE 355

算数科少人数指導と 学びの情報発信

森町立森小学校 教諭 鈴木真一



筆者

学びつ子教室・学 びづくり部

「おはようございます」
学びつ子教室に子どもたち
の元気な声が響きます。
学びつ子教室は、算数科少
人数指導の教室です。中
学年は、2学級を3グルー
プに分け、私を含め3人で
指導に当たっています。



算数科の授業の様子

また、本校には、「学び
合う子」の育成を目指す
「学びづくり部」と「思
いやりのある子」の育成
を目指す「さすなづくり
部」があります。全職員
がどちらかの部に所属し、
具体的な取り組みを話し
合い、学校教育目標の具
現化を図っています。私
は「学びづくり部」の部
長として、学習の充実に
関する提案をしています。
ここでは、主に算数科
少人数指導と学びの情報
発信について紹介します。

算数科少人数指導

少人数指導は、一人一
人の学習の様子を把握し

学びつ子だより
1学期のまどめに向けて

「学びつ子のめあて」
○「一日一回は発表しよう!」
○「愚直な意見を言おう!」
○「意見を聞き取りたい!」
○「宿題を必ず提出しよう!」

学びつ子だより

学びつ子だより

目標を達成することがで
きる」など、6項目の学
びの評価項目があります。
「学びづくり部」では、評
価項目についての具体的
な手立てを話し合い、全
校で取り組んでいます。
また、この取り組みを「学
びつ子だより」に掲載し
て保護者に発信しており、
保護者と指導項目を共有
することで、連携した声
かけ・励ましにつながり
ました。さらに、各学期に
達成したことも「学びつ
子だより」で知らせるよ
うにしています。



子どもたちに心も体も真正面からぶつかる

今年度から本園に着任
した、新しく出会った子
どもたちの全てを受け入れ
ようと、「いいね!」を合
言葉に関わってきました。
子どもたちの小さな頑張
りを認め、共に喜ぶこと
を心掛けた。



芳川遊園地が完成!お母さんも一緒に遊んだよ

先生はみんなが大
好き!
今年度から本園に着任
した、新しく出会った子
どもたちの全てを受け入れ
ようと、「いいね!」を合
言葉に関わってきました。
子どもたちの小さな頑張
りを認め、共に喜ぶこと
を心掛けた。

「この先をどうすればい
いのか」とブロックを操
作しながら話し合う姿が
見られました。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

「友達と伝え合って解決す
る算数」になつてきたよう
に思います。また、「学びの
情報発信」を積極的に進
行することで保護者への理解が
進み、協力を得ることがで
きました。今後も、継続し
ていきたいと思っています。

実践NOTE 356

協同的な遊びに 向けた学級経営

浜松市立芳川幼稚園 教諭 清水利恭



子どもたちと遊びの振り返りをする筆者

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

先生、「うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!
先生、うちに来てよ!

通学合宿

つうがくがっしゅく

各地で開催中!! まだまだ申請受付中!!

異なる学年の子どもたちが、共同生活を送りながらお互いの立場を理解し、他者を思いやる心を育むことを目的とする通学合宿。平成17年の事業開始から延べ42,000人以上の子どもたちが参加しています。この通学合宿事業に今年度から、1泊からでも実施できる「防災体験合宿」を新設しました。

「防災体験合宿」は8月までに県内約30カ所で行われています。各地で行われた特色ある取り組みを紹介します。

～相生小学校での例～

浜松市立相生(あいおい)小学校では、6月にPTAの方々を中心として防災体験合宿が実施されました。

市や県の協力を得た起震車体験の他、ボーイスカウトの方々の指導の下、炊き出し訓練、火起こし体験、缶詰の空き缶を使ったランプ作りを実施しました。子どもたちからは「今まで家で料理をしなかったが、今度は自分で作ってみたい」、保護者からは「非常時の状況を理解できて良かった」といった声も聞かれました。



市や県の協力を得て起震車体験を実施

～長田北小学校での例～

静岡市立長田北小学校では、「おやじの会」の方々を中心に、まき割りや救命救急講座、消火器訓練などを実施した他、地域の方による防災講座として、東日本大震災や熊本地震でボランティア活動を行った方の体験談を聞きました。子どもたちはメモを取りながら真剣に話を聞いていました。参加した子どもからは、「(学校に泊まるなど)普段できないことが体験できて楽しい」といった感想がありました。



被災地におけるボランティア活動について、地域の方から話を聞く

～実施団体募集中!!～

県教育委員会では、本年度の実施団体をまだまだ募集しています。実施する団体には、内容に応じて4万円から27万円を補助する制度があります。また、防災体験合宿を実施する場合には、県や市町から防災に関するプログラム実施の協力を受けることができます。通学合宿を通して子どもたちに貴重な体験をさせてみませんか?詳細については、社会教育課までお問い合わせください。

問 社会教育課 054(221)3123 HP 静岡県 通学合宿 で検索

授業は誰のためのもの?

「戦争で負けて占領されたからかな」前に習った渡来人みたいに、この時代は西洋の人から学んだのかな」子どもたちは問いを解決しようとしていきます。子どもたちは真剣です。どうしても解決したい問いであるが故に、仲間のつぶやきや発表を一生懸命に聞き取ります。そして、仲間との考えや認識のずれを感じたり自分と同じ考えに触れたりすると、どうしてか自分も自分の思いや考えを言いたくなり、自分が納得するまで追究を続けようとします。



「右側は外国じゃないかな」でも2つの絵にはどちらも富士山が描いてあるよ。日本のどこかだよ。しかも同じ場所みたい」「あれ?よく見ると、1860年と1880年って書いてある

「戦争で負けて占領されたからかな」前に習った渡来人みたいに、この時代は西洋の人から学んだのかな」子どもたちは問いを解決しようとしていきます。子どもたちは真剣です。どうしても解決したい問いであるが故に、仲間のつぶやきや発表を一生懸命に聞き取ります。そして、仲間との考えや認識のずれを感じたり自分と同じ考えに触れたりすると、どうしてか自分も自分の思いや考えを言いたくなり、自分が納得するまで追究を続けようとします。

子どもたちが自ら問いを持ち、それを解決しようとする主体的に取り組む授

業を展開することの大切さを改めて感じる授業場面でした。教師から一方的に課題を与えられ、調べてまとめる授業では、このような生き生きとした子どもたちの追究は見られないでしょう。

静岡県の義務教育では、これまで「子ども中心主義」という原点、「生涯学習」の理念を大切にしてきました。子ども中心の授業づくりを充実させることで、子どもたちは学びを実感し、学ぶことの楽しさや仲間と共に問題を解決する喜びを味わいます。そして、問題から目をそらさずに解決しようとする意欲を高めていくのです。

変化が激しく、将来の予測が困難な社会が現実

予測が困難な社会が現実

予測が困難な社会が現実



安全・安心な海洋活動を目指して

三ヶ日青年の家海洋活動報告

平成28年4月1日より海洋活動を再開しました。海洋活動は、利用者が普段の生活ではできない、非日常の体験を通して、達成感や充実感、そして時には一生忘れられない感動を味わうことのできる魅力的な活動です。

再開後は、小中学校を中心に活動を実施しており、高い評価を頂いています。三ヶ日青年の家では、海洋活動再開に当たり、安全対策マニュアルの作成や改訂、毎月の緊急対応訓練実施など、さまざまな取り組みを行ってきました。

緊急対応訓練では、活動中におけるさまざまな緊急事態を想定し、所員間の連携、情報収集方法等の確立、救助スキルの向上を図り、緊急時に所員が冷静・迅速・的確な判断ができるよう、日々訓練を重ねています。

また、所員の増員や海洋指導員の導入により、より多くの所員が海洋活動に関わり、活動中の監視、救助体制の強化を図っています。

しかしながら、海洋活動を安全・安心な活動とするためには、利用団体の皆様の協力も必要不可欠です。そのため、三ヶ日青年の家では、海洋活動を希望する団体の指導者の方に、「海洋活動指導者研修会」に必ず参加していただく体制としました。

研修会には、団体指導者の皆様には、本研修会を通して海洋活動に関する基礎知識に加え、事前準備の重要性や活動当日の団体指導者の役割等についても十分に理解していただきたいと思います。

【県立三ヶ日青年の家】

安全・安心な海洋活動を目指して

青年の家では、海洋活動を希望する団体の指導者の方に、「海洋活動指導者研修会」に必ず参加していただく体制としました。研修会には、団体指導者の皆様には、本研修会を通して海洋活動に関する基礎知識に加え、事前準備の重要性や活動当日の団体指導者の役割等についても十分に理解していただきたいと思います。

「わたしの主張2016」(第38回)県大会を開催しました

中学生が日常生活の中でのさまざまな体験を通して考えたこと、感銘を受けたことなどを発表する「わたしの主張2016」県大会が8月19日(金)、袋井市立中央公民館にて開催されました。

今年も、応募総数14,208作品の中から選ばれた13人が、自分の思いを壇上で堂々と発表しました。将来や社会のことを真剣に考えている中学生の主張が、聴衆の胸を熱く、心に響く大会となりました。



最優秀賞を受賞した持田さん

最優秀賞は持田朋花さん(沼津市立門池中学校)

持田さんは、自身が通う卓球教室での聴覚障害者との出会いをきっかけに、障害に対する自分の考え方を直視し、社会の現状と照らし合わせて考えを掘り下げました。そして、「障害のある人のためにどうしたらいいんだろう」と考えること自体が障害のある人との間に壁を作っていることに気が付きます。「どんな人にも優しい世の中であること」が、真の共生社会であることを主張しました。

持田さんは、本県代表として、関東甲信越静岡ブロック大会の代表を決める審査会に推薦され、11月に行われる全国大会への出場を目指します。



自分の思いを壇上で堂々と語った発表者

【社会教育課】

〈教職員を対象としたメンタルヘルス相談窓口〉

〇公立学校共済組合静岡支部(県内7箇所受付) 〇公立学校共済組合本部 0120(783)269 〇県教職員互助組合 0120(034)054 問 福利課 054(221)3181

総合教育センター
よなよなAngle
社会に開かれた
学びに向けて

◇社会の変化を見据えた学びの環境構築へ

少子高齢化により、学校の小規模化はますます加速しています。すでに県内小学校の約3割が単学級となっており、加えて、社会の変化とともに児童生徒を取り巻く諸課題は多様化・複雑化しています。もはや学校のみで対応することは困難な課題も多く、学校外の協力を得て解決に至ることも少なくありません。

地方自治体への調査によると、多くの地域住民が、地域で特に重要な場所は「学校」とであると捉えています。さらに、「学校のために何か役に立ちたい」と思っています。教職員と共に子どもに関わっている方も多くいます。

学校、地域の双方が互いを必要としている今こそ協働により「チーム学校」として、教育を展開すべき時です。

未来を担う子どもたちを育てる場は学校を核とした地域そのもの、だからこそ、地域社会と共に歩む「社会に開かれた教育課程」が求められているのです。

注1 広井良典「地域再生・活性化に関する全国自治体アンケート調査(2010年)」

◇地域と学校をつなぐ「生涯学習担当」

総合教育センターでは、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校と地域が効果的に連携協働していくための研修を行っています。

今年6月に実施した「地域とともに歩む学校づくり研修」では、県内で先進的な取り組みを行っている御前崎市立御前崎小学校と静岡市立清水江尻小学校の事例が報告されました。どちらも地域と関わりながら児童の豊かな学びを築いています。参加者からは、「地域社会との教育課程の共有」は、地域連携の目指すべき形だと感じました。これにより子どもはもちろん、地域も育っていくですね」といった感想が寄せられるなど、「社会に開かれた教育課程」とは何かを考える有意義な機会となりました。

この研修の対象者は「生涯学習担当」をはじめとした各学校の地域連携担当です。地域の核としての学校の役割を踏まえて、本県では、「生涯学習担当」を平成13年から県内全公立学校に配置しています。地域と学校をつなぐことが「生涯学習担当」の大きな役割です。次世代の学校の在り方を考える上で、「生涯学習担当」は重要な存在であると言えます。

注2 内閣府「平成26年度社会意識に関する世論調査」「平成27年度アクションプラン進捗状況」

【生涯学習推進室】

平成28年度社会教育主事講習
【静岡会場】受講生募集!

社会教育主事は、地域の社会教育・生涯学習を推進するコーディネーターであり、家庭・学校・地域等、社会総がかりで教育を推進するためのキーパーソンです。県教育委員会では、今年度も静岡会場を設置し、「社会教育主事」の養成に努めています。

社会教育主事講習について

- 期間 平成29年1月18日(水)～2月23日(木) 平日の27日間
- 会場 県教育会館(静岡市葵区駿府町)
- 募集人数 25名まで
- 受講料 無料。宿泊研修(2泊3日)及び現地研修(1日)は、実費負担(7,000円程度)
- 募集開始 11月上旬

受講資格は?

- 社会教育主事講習等規程第2条の各号の一に該当する方(例)①大学に2年以上在学し、62単位以上修得した方
②教育職員の普通免許状を有する方
③2年以上生涯学習・社会教育関係の職にあった方や公民館等社会教育施設において事業の企画実施を担当している非常勤等の職員の方などです。
※上記の①～③のいずれかに該当していれば、社会教育に興味のある一般の方も受講できます。

「分割履修」も可能

講習修了に必要な単位は以下のとおりです。
○生涯学習概論(2単位) ○社会教育計画(2単位)
○社会教育特講(3単位) ○社会教育演習(2単位)
※複数年にわたり、「概論」「計画」「演習」の順に単位を修得することも可能です。また、放送大学等で修得した単位も認定されます。

ぜひ、この機会に社会教育について学んでみませんか。申込みに必要な書類等も含め、お気軽にご相談ください。

申・問 社会教育課総務企画班 054(221)3163 054(221)3362

富士山麓山の村主催事業参加者募集!
～富士山のでっかい自然に触れてみよう～

富士山麓山の村は「世界文化遺産」に登録された富士山の1合目国有林の大自然の中にあります。今年も深まりゆく秋の中、手軽で魅力あるさまざまな主催事業が行われます。

昨年度から実施している10月15日の富士山麓フェスティバルでは、自然観察・健康ウォーキング・ドングリアート・森づくり体験・コンサートなどが行われ、どなたでも参加できます。

また、10月30日には、第3回富士山グリーン作戦in山の村と銘打って、世界遺産となった富士山に感謝を込めて山の村活動エリア内で自然観察をしながら清掃を行います。

11月には、「223(ふじさん)を知ろう講座」の本年度シリーズ⑩、⑪弾事業としてほうとう作り体験、冬の星空観察を実施します。



ドングリアート



自然観察&ゴミ収集

NO	実施時期	事業名	参加費
1	10月5日(水)～26日(水)	「富士山麓の動植物 パートII」～ふじのくに地球環境史ミュージアムパネル展～	無料
2	10月15日(土)	第2回富士山麓フェスティバル	無料
3	10月30日(日)	第3回富士山グリーン作戦in山の村	500円
4	11月16日(水)	223を知ろう講座⑩ ほうとう作り体験	1,100円
5	11月25日(金)	223を知ろう講座⑪ 冬の星空観察	無料

皆さんも大自然ならではの体験をしてみませんか。ご参加を心よりお待ちしております。

申・問 富士山麓山の村 0545(36)2236 0545(36)2239

気軽に寄って! 焼津青少年の家まつり
～フェスタ石津浜～

秋といえば、「スポーツ」「文化」「食欲」の季節ですね。それを同時に全て満たすことができるのが、焼津青少年の家まつり「フェスタ石津浜」です。

屋外ではfrisbeeストラックアウト、輪投げなどで「スポーツ」を楽しめます。

また、近隣の学校や公民館などで制作した作品展示や本所利用団体によるステージ発表、創作体験などの「文化」も楽しめます。

「スポーツ」「文化」を楽しんだ後は、本所のレストランで「食欲」を満たしてはいかがでしょう。秋の1日を、「フェスタ石津浜」でお楽しみください。

- 日時 11月20日(日)午前10時～午後3時
- 内容 ステージ発表、展示作品発表、活動プログラム体験、防災コーナー、浴室開放など
- 参加料 無料(ただし創作体験は材料費が必要)



昨年の「フェスタ石津浜」ステージ発表の様子

問 焼津青少年の家 054(624)4675

文化・芸術の秋
10/22～11/6
としておきの学びを
「文化の丘フェスタ」で!

「ふじのくに文化の丘フェスタ」とは?

静岡市の草薙周辺の文化関連機関の連携・協働による自主プロジェクト「ムセイオン静岡」。そのメンバーである県立大学、県立美術館、県立中央図書館、県埋蔵文化財センター、県舞台芸術センター(SPAC)、グランシップ

- 講師 赤羽 茂乃氏
- 場所 講堂
- 定員 200人※増員しました(先着順・要事前申込)
- 図書館講座 葵レク
- 貴重書講座「静岡県立中央図書館蔵 戦前・戦中の閲覧禁止図書、削除・切取図書について」
- 日時 11月3日(木・祝) 13時30分～15時
- 講師 山口 博氏(葵文庫の会)
- 場所 会議室
- 定員 70人(先着順・要事前申込)
- 書庫開放
- 日時 11月3日(木・祝) 9時30分～正午
- 場所 小集会室B
- 定員 15人(先着順・要事前申込)

その他

「ムセイオン静岡」セミナー「親子向け講座「親子でたのしいね!ふれあい遊びとおはなしの会」、企画展示「静岡県の昆虫展」、「江戸文学の世界」江戸戯作と庶民文化」などさまざまな企画を予定しています。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

申・問 県立中央図書館 企画振興課 054(262)1246 HP <http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp>

EDITOR

この時季になると、〇〇の秋というフレーズよく見かけませんか?芸術の秋、行楽の秋、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、さまざまな秋があります。私は「スポーツの秋」にして、健康づくりに励みたいと考えています。早速先日ランニング教室に参加しました。スポー

ツ後のビールとおつまみはとっても美味しくて幸せな気持ちになります。危ない危ない!食欲の秋も素敵たけど、飲み過ぎや食べ過ぎないように気を付けます。スポーツの秋に関連して、現在、第71回国民体育大会、希望郷いわて国体が開催されています。がんばれ!静岡県選手団!

48mmまでの厚みのある硬質メディアにも最適なパフォーマンスを発揮!! アクリルやノリバナなどに直接プリント可能!!

250ミクロンという一般の3倍の厚さのラミネートを自由自在にカット!!

Tシャツをはじめとする様々なオリジナルプリントグッズを作成!!

小ロット印刷や短納期の印刷向け高速オンデマンド出力機 A4片面3600枚/時間が可能!!

企画からデザイン印刷まで可能な限り どの様なニーズにも対応!!

株式会社 ライトグラフ
〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷2385番地
TEL (054) 276-2520 FAX (054) 276-2521
HP : <http://www.rakuten.co.jp/rightgraph/index.html>

- デザイン企画 ●文字入力・編集 ●製版フィルム出力
- CTP刷版出力 ●大判出力 ●パンフレット ●会社案内
- チケット(ナンバリング可能) ●自費出版 ●商品カタログ
- カレンダー ●ポスター ●POP ●チラシ ●PDFファイル
- メニュー(ラミネート加工可能) ●ラベル ●ポストカード
- DM(バリアブル印刷可能) ●スタンプカード ●その他